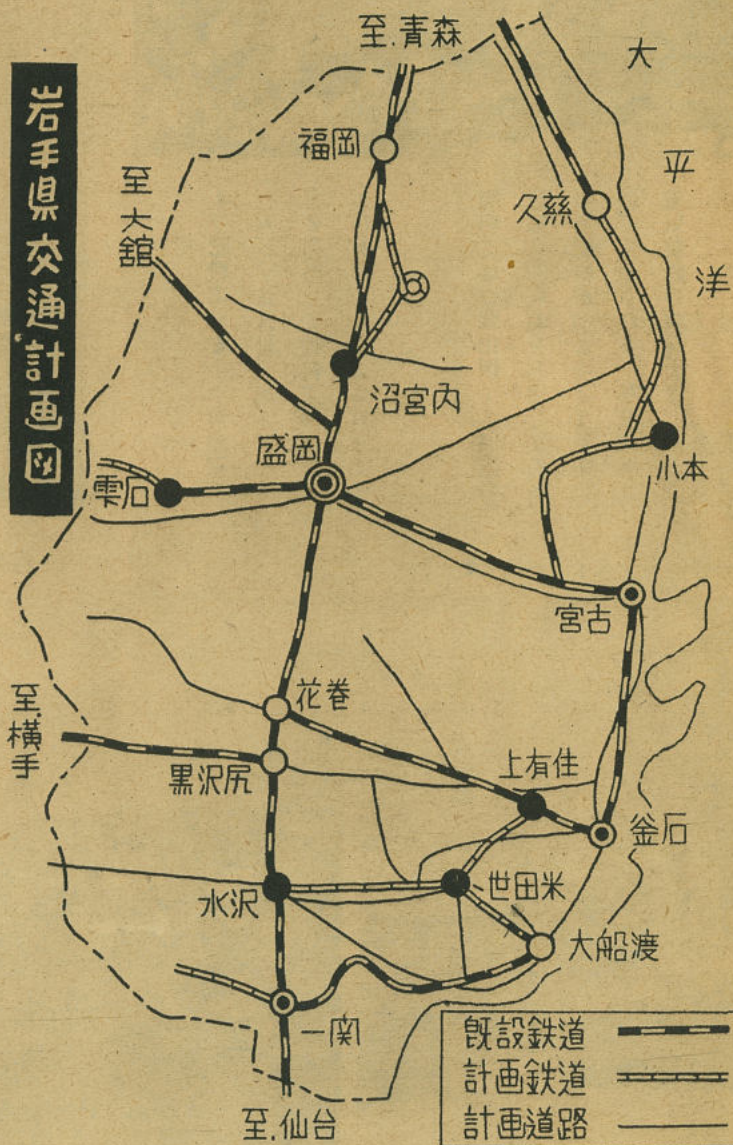
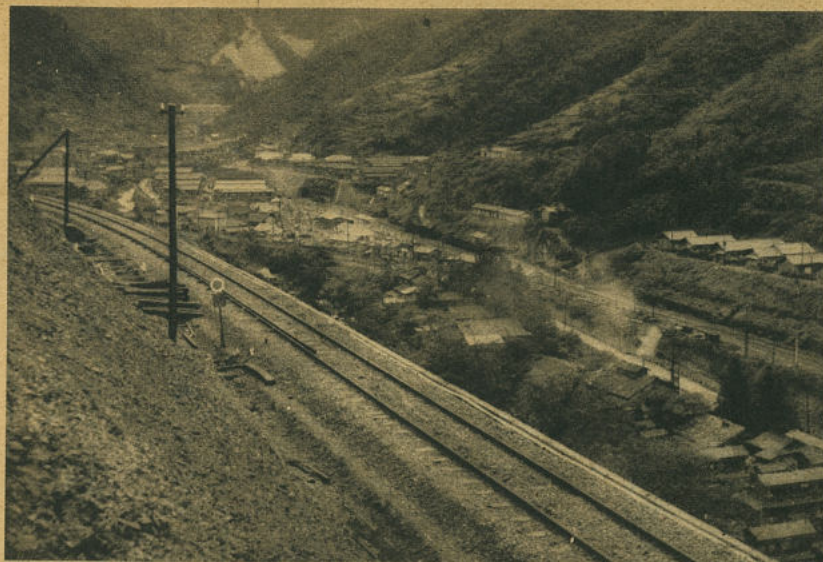


開発の網・鉄道

資源の開発 其の三

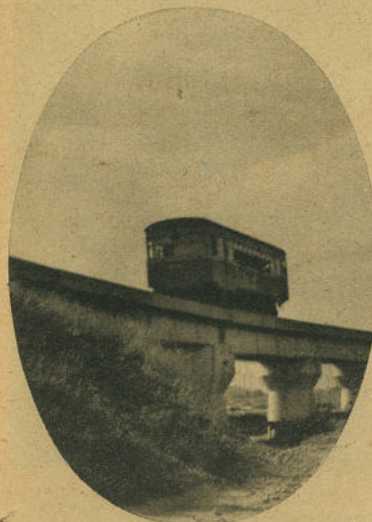
資源開発の根本をなす鉄道では東北本線の復線化改良、三陸縦貫鉄道中の久慈、宮古間、私鉄の大船渡と釜石を結ぶ岩手開発鉄道、横断幹線では水沢と大船渡、一関から西へ向う根木線などを計画し資源、物資の輸送に支障のないよう考えられている。



↑ 昨年十月内陸部と沿岸を結ぶ大きな役割を持つ釜石線が開通し、本県開発上の大きな役割を占めている。

岩手県交通計画図

← 釜石線の一部



↑ 岩手開発鉄道
大船渡と釜石を結ぶこの私鉄は昨年、盛…日頃市間が開通した。



全力あげて 良い道路に

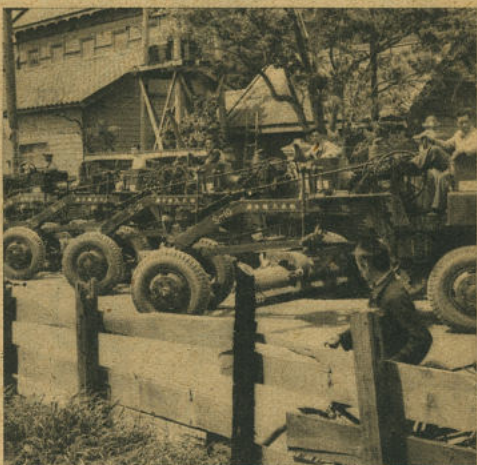
資源の開発 其の四

本県の交通——本県の交通網は面積が広大にもかかわらず、全く不備を極め産業の不振もこの不備によるものであつて、根本的対策が必要である。道路では横断幹線道路として

- 宮古——盛岡——秋田県境
- 大船渡——黒沢尻——秋田県境
- 盛——一関線
- 水沢——一船渡線

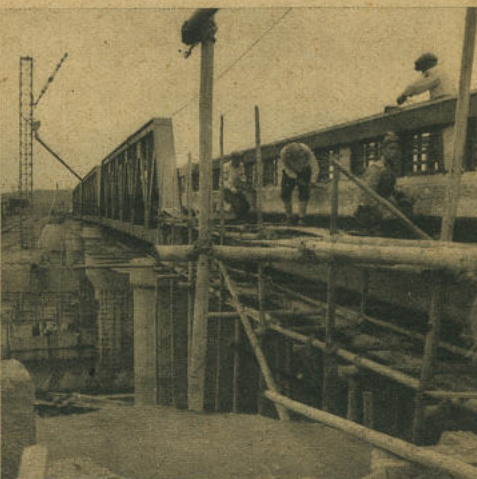
その他の幹線に重点をおいて計画されている。縦断幹線道路としては、国道四号線の改良、三陸沿岸道路を国道として計画している。

道路の舗装はもうせいたくなくてはなくなつた。



県庁前に勢揃いしたモーターグレーダー

国道四号線の盛岡——沼宮内間は悪路であつたが、着々このように整備されている。



→ 岩手県の道路で自動車を通れるものが五〇%程度といわれる。県では一昨年モーターグレーダー十二台を購入し、今年道路の改修に全力をあげている。道路には橋が方々にかけられている。この整備も道路と平行して行われている。写真は磐井橋の架橋

